

2020年2月26日
パナソニック株式会社

車載電池におけるテスラとの強固な協業関係は継続

米・バッファロー工場における太陽電池の生産停止について

米国でのソーラー販売も継続

パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社は、このほど、ソーラー事業戦略に沿って、バッファロー工場(米ニューヨーク州)における、太陽電池のセル、モジュールの生産を停止することについて決定しました。当社は2020年5月末に生産を停止し、同年9月末にバッファロー工場から撤退する予定です。

パナソニックは、当社に勤務する従業員をテスラが雇用できるよう支援していきます。テスラは、バッファロー工場で推進しているソーラー及びエネルギー製品の生産に必要な新たな人員を雇用する予定です。

今回の決定は、当社ソーラー事業のグローバルな合理化の一環です。テスラによれば、同社のソーラー事業成長計画に、全く影響はないとの見解です。当社は、今後、ソーラー事業の開発・生産体制を最適化することにより、創出した成長リソースで、HEMS^(※1)、太陽電池モジュール、蓄電池、エコキュート、EV充電等を組み合わせたエネルギーソリューション事業を強化していきます。

今回の決定により、テスラとの強固なパートナーシップが変わることはなく、両社は、米ネバタ州リノにあるギガファクトリーにおける、業界をリードする電気自動車用電池の生産は継続します。

また、当社は、米国におけるパナソニックブランドの太陽電池パネルの販売も継続します。

当社は、バッファロー工場の従業員につきましては、退職金支払や再就職支援などの誠意ある対応を行っていきます。また、テスラはバッファロー工場での事業拡大に必要な人員を確保するため、できるだけ多くのパナソニック従業員を雇用したいと考えています。両社は、パナソニック従業員を対象にした現地での就職説明会を開催します。テスラが調整しているパナソニック従業員向け就職説明会に加え、当社は他社との就職説明会も開催し、テスラに転職しない従業員も支援します。

当社は、太陽電池モジュールについては協業パートナーから調達し、今後もグローバルでの販売を継続していきます。

パナソニックはこれからも、創蓄エネルギーマネジメントシステムの提案を通じて、快適で豊かなくらしの実現に貢献していきます。

※1:ホームエネルギーマネジメントシステムの略。家庭で消費・創出するエネルギーを見える化したり、家庭内で消費するエネルギーを最適に制御することで、エネルギーを管理するシステムのこと。

以上